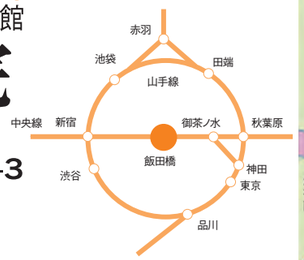
日中学院関係簡史
SINCE 1951

1937. 7　蘆溝橋事件
　　12　南京大虐殺
　　12　「満州国」皇帝溥儀の訪日記念事業として「(財)満州国留日学生会館」(現在の日中友好会館)が落成
1945. 8　日本敗戦
1949.10　中華人民共和国成立
1950. 4　日本の中国侵略を反省し、日中不再戦の誓いのもとに「日中友好協会」創立。その事業の一つとして、「中国語講習会」(会長、倉石武四郎)を設立
1951. 4　「倉石中国語講習会」創設。神田三崎町・東方学会ビルにて
1956. 9　「倉石中国語講習会」に、倉石会長・講師・学生による三者協議会(運営委員会の前身)発足
1961. 7　講習会、東方学会ビルより「善隣学生会館」＝現日中友好会館に全面的に移転
1962.10　倉石中国語講習会に運営委員会発足
1963. 9　倉石武四郎著、「岩波中国語辞典」出版
1964. 8　日中学院に東京都から「各種学校」の認可
1967. 3　善隣学生会館において、日中両国青年による流血の惨事おこる。日中学院・講習会は会館内の教室を失い、各地で分散授業に入る。倉石中国語講習会は解散し、日中学院と合体
1968. 8　日中学院、神田神保町の内山書店ビルに移転
1971.10　中国、「国連」に復帰
1972. 9　日中共同声明調印。日中国交正常化
1978. 8　日中平和友好条約締結
1979. 8　中国日語教師訪日代表団(第1次)を招請
　　9　日中学院長期留学生(第1次)を中国に派遣
1980. 4　日中学院、内山書店ビルより善隣学生会館に全面復帰
　　5　日中学院中国語教師訪中代表団(第1次)北京師範大学において研修
　　10　日中学院学生短期研修団(第1次)北京師範大学において研修
1981. 4　日中学院に東京都より「専修学校専門課程」の認可
1985. 4　日中学院、日中友好会館新校舎に入館
　　10　「藤堂明保先生記念基金」設立
1986. 8　「日中学院創立35周年」を記念して、「日中学院・友好の船」を組織し、中国侵略の跡を訪問。中国教育部より、3,000冊の中国図書の寄贈を受ける
1989.11　「倉石武四郎先生記念基金」を設け、第1回「倉石賞」の授賞式を行う
1991. 4　日中学院創立40周年大同窓会挙行
1996.11　日中学院創立45周年大同窓会挙行
2001. 4　日中学院創立50周年
2001. 8　日中学院創立50周年記念旅行
2001.11　日中学院創立50周年大同窓会挙行
2006. 4　日中学院創立55周年
2006.10　日中学院創立55周年大同窓会挙行
2011. 4　日中学院創立60周年
2012. 2　日中学院創立60周年本科大同窓会挙行
2016. 4　日中学院創立65周年
2021. 4　日中学院創立70周年

※創立以来、学院を訪れた中国からの代表団は、70団体約250人を越える。

東京都専修学校専門課程認可
公益財団法人日中友好会館
日中学院

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
☎03(3814)3591
FAX 03(3814)3590
https://www.rizhong.org/
E-mail:info@rizhong.org



●JR総武線東口、東京メトロ有楽町線、東西線、南北線飯田橋駅A1出口より6分、都営地下鉄大江戸線飯田橋駅C3出口より2分
●都営地下鉄三田線A2出口、JR総武線水道橋駅西口より8分
●東京メトロ丸ノ内線、南北線後楽園駅2番出口より7分

中国語の日中学院 SINCE1951

2024年度　本　　科（2年制中国語専門課程）第61期
　　本科研究科（1年制通訳翻訳課程）第51期
入学案内

日中学院で中国語を

学院長
小松　健次

日中学院は、公益財団法人日中友好会館の活動の一つとして位置づけられた専修学校で、中国語と日本語の教育を目的として運営されています。その歴史は古く日中国交正常化以前より始まり今日に至るまで、語学教育を通して人材の育成を行い、日中両国の友好の懸け橋となる人物を多く輩出してまいりました。設立の当初から比べると日中両国の置かれている状況は大きく変化しています。今や中国と日本は言うまでもなく世界の第2、第3の経済規模を有する大変重要な隣国です。様々な政治的環境の中にも経済的な結びつきは極めて強くまた、近年では文化交流、人材交流もますます盛んになってきています。この経済的な結びつき、文化の交流は今後もますます強くなることと思います。

両国は文化的に共通したものを多く持っている反面、歴史的にも様々な関係の変化を経験し、文化や行動様式の面でも多くの違いがあることも事実です。今後ますます複雑化する世界情勢、経済情勢の中でお互いの文化を正しく理解し交流を深めていくためには、文化の最大の所産である言語の習得が大変重要と考えます。日中学院は語学学校でありますがそれは入り口に過ぎず、むしろその背後にある文化の理解と交流の深化が真の目的であろうと思っています。

もちろんその第一歩は「中国語が聞ける、話せる」ところから始まります。日本における中国語教育の草分けとして、長い歴史に裏打ちされた優秀な講師陣と洗練された教育コンテンツは他に類を見ない水準を維持しております。視聴覚教育設備も充実し、さらに中国への短期留学も本科学生の必須カリキュラムに組み込んでいます。昨年は残念ながらコロナの影響で実現できませんでしたが、通常は語学学習以外でも中国からの代表団を招いて学生との座談会を開いたり、文化祭で学生による演劇や歌舞などを披露して、より実践的な学習を楽しみながら行う要素を取り入れています。

日中学院で学んだ後はさらなる高等教育を目指して大学などに編入したり、中国への留学をしたり、あるいは就職するなど様々な進路がありますが、そのいずれに対しても学院として全力でサポートしていきます。

皆さんが語学学習を通して文化に対する理解を深め両国の関係の深化と進化に大いに貢献されることを期待してやみません。

本科から大学編入!

中国語を身につけ新たな仕事を目指す方にも!

掲示板

校舎全景

講座案内

施　設　案　内

ラウンジ歓談スペース

教室

ラウンジ学習スペース

2万冊の中国関係の書籍、ビデオ、DVDを備える図書室

LL教室

事務局（手前）と講師室（奥）

学習のながれ

❶ 日中学院で中国語を学ぼう!

◎ 本科で学びませんか？

高校卒業以上のすべての方に

- 中国語を初めて学ぶ方 → 本科 1年未習者クラス※
- 中国語の学習経験あり
  - ◆高校・大学・他の語学学校で学んだ
  - ◆中国で生まれ育った帰国子女
  - ◆中国留学経験者 etc.
  - → 本科 1年既習者クラス※ / 1年(9月、10月)編入 / 2年(4月)編入

◎ 本科研究科で学びませんか？

通訳翻訳を目指し更なるレベルアップを

- 中国語応用力を備えている
  - ◆大学中国語専攻
  - ◆中国長期留学経験者 etc.
  - → 本科研究科

◎ 別科で学びませんか？

- 仕事や学校の合間に → 日中学院別科

❷ 日中学院に入学

既習者にも対応! 2年生編入も可!

本　科

- 1年未習者クラス※
- 1年既習者クラス※
- 1年(9月、10月)編入
  2年(4月)編入
  既習単位振替可能!
  1年で専門士取得も可

P.5～10　募集要項 P.22

※規定人数に満たない場合は1クラス編成となります。

本科研究科

P.11～13　募集要項 P.23

日中学院別科

早朝から夜間多彩な講座 P.26
別にパンフレットがあります

専門士取得

❸ 卒業後は……

東京外国語大学3年次編入も!!

- 本科研究科　P.11～13
- 就　職　P.17、19、20、21
  貿易商社、銀行、航空会社、旅行社、メーカー、大使館、団体 他
- 指定校推薦等で大学3年編入　P.18
  東京外国語大学、日本大学、大東文化大学、目白大学、神奈川大学、明海大学、麗澤大学、神戸市外国語大学 他
- 中国へ長期留学　P.17
  天津外国語大学(本科編入)
  他中国全国の大学(本科・漢語班)
- 就　職　P.17、19、20、21
  貿易商社、銀行、航空会社、旅行社、メーカー、大使館、団体 他
- 通訳・翻訳者を目指す　P.20
- 通訳案内士　P.20

本科は…2年間毎日学ぶ専門学校の課程です。
卒業後は大学編入、中国留学、中国語での就職の道も。卒業することで「専門士」という資格を取得できますが、より自由な形で学習を希望する方にも対応しています。まずはお問い合わせ下さい。

文化祭は大賑わい

ラウンジで

CONTENTS

本科 ― 5
短期留学 ― 6
1年既習者クラス、編入 ― 7
本科時間割、カリキュラム ― 8
本科学生の声 ― 9

本科研究科 ― 11
本研時間割、カリキュラム ― 12
本研学生の声 ― 13

講師紹介 ― 14
1年の活動 ― 15

進路 ― 17
就職支援活動 ― 19
業種別卒業生の声 ― 20

本科募集要項 ― 22
本研募集要項 ― 23

入学手続、公開講座案内 ― 24
Q＆A、中国語ってどんな言葉？ ― 25
別科、日本語科紹介 ― 26

留学生と都内見学（浅草）

留学生と交流授業

本科（2年制中国語専門課程）

中国語を基礎から、徹底的に、本当に力のつくカリキュラム。

本科とは　中検2〜準1級、HSK5〜6級取得を目標

中国語を初歩から本格的・集中的に学び、マスターし、将来に活かしたいと考えている方のためのコースです。「聞く」「話す」を中心にオールラウンドの中国語力を養います。ゼロからでも、早い学生で1年生の6月に中検4級、11月に中検3級に合格（中には2級合格者も）、2年間でHSK5〜6級、中検2〜準1級取得を目指します。

中国語での授業と合わせて、日本人が苦手とするポイントを熟知した日本人講師が、日本語でもその理解をサポートするので、留学で中国語を学ぶ以上に、『速く！』、『正確に！』中国語を自分のものにできます。また、講師がいつでも待機し、質問に応じています。

授業内容　中国短期留学必修！

1年次では、最初に「ピンイン」の学習を通じて発音の習得につとめます。また「基礎漢語」を中心に中国語の基本文法を学び「会話」、「聴解」、「講読」でさらに総合的な基礎力を養います。社会科では中国近現代史や中国の地理·政治·社会のしくみを勉強します。

2年次では約1カ月程の中国短期留学が必修になっています。本場中国でこれまで習った中国語を試しながら、会話、リスニング力を更に高めます。通常の授業では中国の教材やオリジナル教材を用い、複雑な文型や語彙を増やし、やや高度な日文中訳や中文日訳、テーマに即した会話、HSK·ニュース·映画等幅広い題材を基にした聴解の授業を行います。社会科では現代中国が抱える諸問題についての研究、発表を通し理解を深めます。また選択科目として英語・太極拳・日本語教授法の授業もあります。

留学生との交流　生きた中国語を学ぶ

日中学院では、中国人講師が半数以上を占めていることや、日本語科の学生が全て中国からの留学生であるため、日頃学校のラウンジ等で身近に中国の方と知り合え、日本に居ながら生きた中国語を勉強できます。また、授業以外にも合宿、文化祭、弁論大会など留学生との交流イベントもあり、まさに日中友好の実践の場と言えます。

専門士　既修単位振替可能！

日中学院は1981年に東京都より「専修学校専門課程」の認可を受けた専門学校です。本科2年間の課程を修了すると、専門学校卒業資格と同時に「専門士」の称号が付与されます。「専門士」とは、短大·高専卒業者に与えられる「準学士」と並ぶ称号で、取得者は1999年より大学2·3年次への編入が可能となりました。

日中学院では既修単位の振り替えができるため、最短1年で専門士を取得できる場合もあります。

進　路　東京外国語大学3年次編入も

卒業後は商社、旅行社、メーカー、中国関係の団体等へ就職、長期留学、本科研究科に進学などの道があります。

また、指定校推薦制度等により日本大学、大東文化大学、神奈川大学、明海大学、目白大学、麗澤大学に、一般編入で東京外国語大学、神戸市外国語大学等への編入実績もあります。さらに、中国天津外国語大学への編入の道もひらかれ、進路は様々で多岐にわたります。

学んだ中国語を中国で使おう！——中国短期留学

本科では中国での短期留学が必修になっています。2年次の6月下旬から7月末までの約1カ月間、中国の大学で短期研修を行ないます。

1年生の時に基礎語彙力をつけ、文型の暗記、練習を通して中国語のストックが相当できあがっています。そしてある程度まで中国語で考えられるようになっています。

実際に中国に行って使ってみるのがこの留学です。大学内の留学生寮に滞在し、午前中はすべて中国語での授業、午後には、現地大学生との交流や街に出ての実践会話と本場中国で自分の力試しができます。また、勉強だけでなく、市内観光や京劇鑑賞なども盛り込まれており、一般の旅行とはひと味違った生の中国を肌で感じることができるでしょう。

留学生活で、特にリスニング力と会話力に自信がつき、現代中国への理解も深まります。この中国短期留学で味わった喜びと悔しさは必ずその後の中国語学習に役立つはずです。

故宮博物院

慕田峪長城

●短期留学実施要項（実施については未定）

期　間：6月末〜7月末（予定）
留学先：中国人民大学（予定）
日　程：6月末　成田出発、北京到着
　　2日目以降〜　中国の大学にて中国語の研修。会話・聴き取りに重点の置かれた授業です。授業以外に市内観光、京劇雑技鑑賞などもあります。
　　7月末　帰国
費　用：約260,000円（食費・交通費・パスポート取得費用及びそのための手続き料・保険料の費用などは含みません）
※費用については、1年入学時に10万円を、実費の残額を2年進級時に積み立てることになります。
また、レートや航空券、学費、宿泊費の値上げにより、不足した場合は別途徴収します。ご了承ください。

短期留学１日のスケジュール

午前（8:00〜11:30）	授業（全て中国語）
午後	補講、市内観光、自由行動等
夜	京劇鑑賞、自習等

宿泊は大学学生宿舎、食事は大学の食堂などを利用します。

北京短期留学での生活

本科55期　酒井　亜由子

北京短期留学中は、毎日規則正しい生活を送っていました。朝は6時頃に起きて、中国人民大学の留学生寮から一番近い食堂に朝食を食べに行き、お粥に温かい豆乳、茶卵を好んで食べました。

8時からは授業がはじまります。勿論、説明はすべて中国語です。会話の先生は授業の合間によく楽しい話をしてくれました。私達でも理解できるレベルで話してくださるので、表現の面でも色々と発見がありました。聴解の先生は、授業の内容に即した質問でコミュニケーションをとってくれました。自分の返答がどんな質のものでも、先生が優しく対応して下さるので、正直ホッとしたことを覚えています。VTRの授業では、映画のワンシーンをクラスメイトと一緒に演じて再現するのですが、小道具や細かい動作にこだわるグループもあり、毎回楽しい時間となりました。

午後は自習に充てる日もありましたが、街に出かけることの方が多かったと思います。はじめのうちは、クラスメイトとスーパーに買い物に行ったりして、自分たちの中国語がどの程度通用するのか、どんなフレーズが伝わりやすいのかを一緒に検証しました。いくつか観光スポットを巡り、慣れてきてからは、一人で地下鉄に乗って色々な場所へ出かけました。一人で歩くと北京の街の雰囲気をじっくりと堪能することができて、とても嬉しい気分になりました。この感情は、学習を継続する支えとなっています。

既習者の方にも対応!!
１年生既習者クラス、本科編入

本科１年既習者クラス

高校や大学等で既に中国語を勉強したことがある方や中国で生まれた方で、2年生の編入には少し力不足という方のために、1年生既習者クラスを設けています。未習者クラスと基本的な教材、進度は同じですが、補充プリント等を使って量や速度を加え、小テストや課題も増やし、更にしっかりとした基礎力の獲得を目指します。また既習者クラスには作文の授業もあります。入試の際、プレイスメントテストを実施しています。（人数により1クラスになる場合もあります。）

熱のこもった授業

映画を見ながらVTRの授業

本科編入

本科1年(9月、10月)　　本科2年(4月)

日中学院入学前に、大学、留学、他の機関で長く中国語を学ばれた方は、本科編入（1年生9月、10月、2年生4月）が可能です。過去の既修単位が本学院の単位として認められるのです。すでに身につけている初、中級の中国語力を活かして編入すれば短い期間で効率よくレベルアップできます。

2年生に編入し、単位が振り替えられれば最短1年間で本科卒業、専門士が取得できます。単位が振り替えられない場合でも、本科2年と本科研究科の2年間を本科の単位に振り替え、本科卒業、専門士を取得することもできます。詳しくはお問い合わせください。

●編入生募集要項

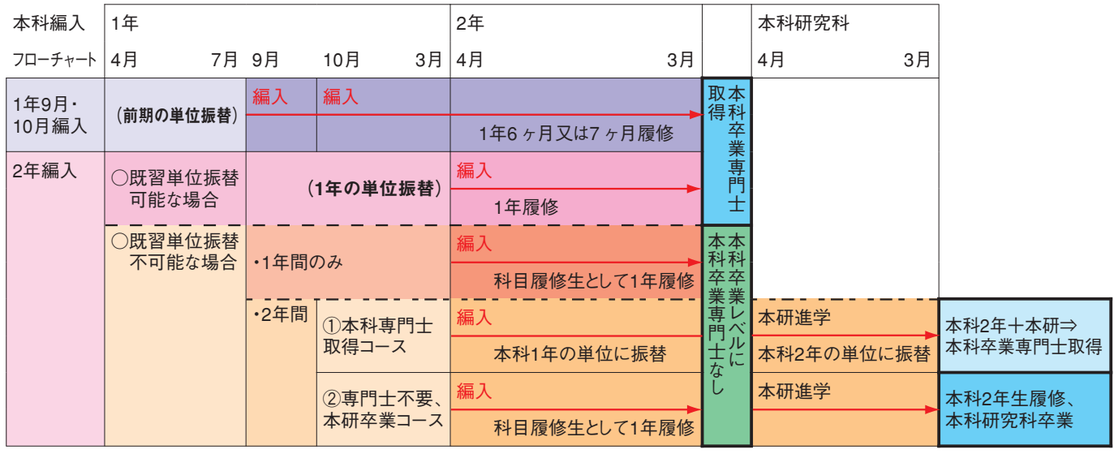
出願条件：1年生　本科出願条件に準ずる。
2年生　本科出願条件の他に、本科1年修了程度の学力を有する者。

試験日程：1年9月、10月編入生はそれぞれ8月下旬、9月中旬までに編入試験を行います。
お早めにお問い合わせください。
2年編入生は、本科募集要項に同じ。

試験内容：1年生　レベルチェック及び作文、面接
2年生　語学試験及び面接

提出願書：本科募集要項に同じ

LL教室で聴解の授業



※科目履修生と正規学生の相違点
1. 資格について……卒業・専門士資格はありません。本科から修了証のみの発行になります。
2. 証明書の発行……在学証明書のみの発行で、その他の証明書は発行しません。
3. 奨学金について…公的奨学金・学院私設奨学金の対象にはなりません。

学生証は発行しますので、学割の申請はできます。

1、2年生のカリキュラム

●学期区分

前期　４月10日～９月30日　　夏休み　８月１日～８月31日
後期　10月１日～３月20日　　冬休み　12月21日～１月９日
春休み　３月21日～４月９日

●授業時間

月～金　午前9時～午後1時10分（午後2時30分）

1年生時間割（例）

	月	火	水	木	金
第1・2時限（9:00～ 9:45 / 9:45～10:30）	基礎漢語	社会Ⅰ（現代史概論）	基礎漢語	基礎会話	社会Ⅱ（現代中国論）
第3・4時限（10:45～11:30 / 11:30～12:15）	聴解基礎	基礎漢語	基礎会話	基礎漢語	基礎漢語
第５時限（12:25～13:10）			基礎漢語	基礎漢語	
6・7時限（13:30～15:00）		講読演習			

2年生時間割（例）

	月	火	水	木	金
第1・2時限（9:00～ 9:45 / 9:45～10:30）	応用漢語	作文	応用漢語	聴解Ⅰ（ニュース）	応用漢語
第3・4時限（10:45～11:30 / 11:30～12:15）	聴解Ⅱ（映画）	会話Ⅰ	講読演習	社会	会話Ⅰ
第５時限（12:25～13:10）		会話Ⅱ			会話Ⅱ
6・7時限（13:30～15:00）	選択科目（日本語教授法）（英語）			選択科目（太極拳）	

状況によりオンライン授業にも対応します！

新型コロナウイルス感染症拡大等により、通常授業が難しい状況では、一部Zoomによるオンライン授業を行うことが可能です。また、休校により授業時間が不足した場合でも、夏休みや年度末等で学習時間を確保します。

●使用教材

１年次…教材は主に上海華東師範大学編「基礎漢語40課」やオリジナル会話教材を使い、ゼロからのスタートで「読む」「聞く」「話す」「書く」の基礎力を養っていきます。

２年次…１年次に身につけた基礎をもとに、主に中国で出版されているテキストやオリジナル教材を使用し「日文中訳」「講読」「会話」「聴解」などの応用力を養います。また選択科目を通し、中国文化への理解を深めていきます。

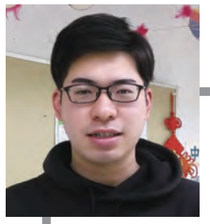
●取得単位

1年次単位取得科目				2年次単位取得科目			
科　目	単位	科　目	単位	科　目	単位	科　目	単位
中国語発音基礎	2	基礎会話Ⅰ	4	応用漢語Ⅰ	6	作文Ⅰ	2
基礎漢語Ⅰ	10	基礎会話Ⅱ	4	応用漢語Ⅱ	6	作文Ⅱ	2
基礎漢語Ⅱ	12	中国現代史概論	2	応用会話Ⅰ	4	聴解演習Ⅰ	4
講読演習Ⅰ	2	中国社会概論	2	応用会話Ⅱ	4	聴解演習Ⅱ	4
講読演習Ⅱ	2	現代中国論	2	講読演習Ⅲ	2	中国社会研究Ⅰ	2
聴解基礎Ⅰ	2	日中文化史	2	講読演習Ⅳ	2	中国社会研究Ⅱ	2
聴解基礎Ⅱ	2			短期留学	4		
				選択必修科目			
				英語	日本語教授法	太極拳	4
1年次合計			48単位	2年次合計			48単位

会話では通訳の練習も

ニュースを教材とした聴解の授業

本科学生の声



Shānkǒu Jīngchéng
山口 景誠 同学

幼少期 中国で過ごす ▶▶▶ 日中学院本科

私の両親は中国人ですが、私は中国語が話せません。1歳から5歳まで、中国で暮らしていたので中国語が流暢に話せていたのですが、日本に来てから全くというほど使わなくなったので全て忘れてしまいました。親同士の会話が中国語、自分に対して日本語というやや不自由なコミュニケーションをとっていたので、自分の思い、気持ち、考えが正確に伝わらない事が多々ありました。なので、いつかは中国語を学んで親としっかり向き合いたい、と思っていた時に出会ったのがこの日中学院です。

日中学院に入学してまずは、全ての授業で発音、声調の練習をします。口の形、動かし方、音程の変化など、長い時間をかけて繰り返し練習します。声調は第一声から第四声まであり、同じmaというピンインでも声調が一つ違うだけでも意味が変わります。なので、完璧になるまで繰り返し発声練習をする事をおすすめします。

その後、文法を学んでいきます。頻繁に確認テストを行うので、自分の理解具合を確認しながら進められます。文法がわからない、声調に自信がない場合でも問題ありません。先生に尋ねれば優しく、丁寧に教えて頂けるので大丈夫です。私は英語が得意ではなく、語学全般に苦手意識を持っていましたが、日中学院で組まれているカリキュラムはそんな私でも理解できるほど優しく紐解いてくれるので、是非一緒に頑張りましょう。

中国語未習者の人は
本科1年生未習者クラス

大学で 中国語を学ぶ ▶▶▶ 日中学院本科

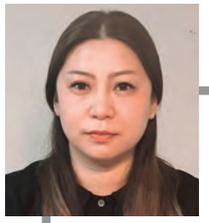
Héngshān
横山 さやか 同学

私は中国語の専門学校に進学しようと思い、前年度の秋頃に日中学院の授業を見学した際、授業や学校の雰囲気に惹かれ入学を決めました。学生の年齢層が幅広いのも決め手のひとつでした。私は大学を卒業してからの入学だったためクラスメイトといい関係を築けるか多少の不安もありました。しかし社会人や退職されてから学習を始めるという方も多く、そのような方々の中国語学習への意欲に私自身も刺激を受けました。

入学した4月の数週間はひたすら発音を練習し、その後会話や講読、聴解などの授業に分かれます。授業は発言や質問のしやすい雰囲気です。時には中国の習慣や先生の体験談を話してくださり、中国人の考え方を理解することで学習の役に立つことも多いです。

学校行事として年に数回の中国人留学生との交流があります。やはりスピードが速くて聞き取るのが難しいですが、中国語の学習へのやる気に繋がります。授業はほとんど日本語で行われるので分かりやすいのですが、会話力を高めるには自分から積極的に話す機会を作る必要があると感じます。授業のスピードは比較的速く、1年前と比べかなり身についてきていると思っています。来年度は校外で中国語を使う機会も増やしつつ学習に励んでいきたいです。

中国語を学んだことがある人は
本科1年生既習者クラス



Zhōngdǎo Yóujizǐ
中島 由紀子 同学

主婦を しながら ▶▶▶ 日中学院本科

私は主人の転勤に伴い、中国に約４年間滞在していました。

中国での生活は文化の違いもあり本当に大変でしたが、現地の方の温かさに触れ、日本に帰りたくないと思うほど中国生活が居心地の良いものとなっていました。しかし、この間、私の中国語の方はというと、残念ながらまったくと言っていいほど身についておらず、そのことをずっと後悔していました。本帰国後、やはり中国語を話せるようになりたいと思う気持ちが強くなり、歴史ある日中学院を受験しました。

最初はピンイン、発音から始まり、基礎をしっかりと作ります。その後、漢字での授業に入ったあともその都度確認テストを行い、定着させていきます。一度の説明で理解できないことがあっても、何度も繰り返したり、戻ったりしながら授業が進むので、だんだんと理解できるようになります。

日中学院での中国語学習は、きちんと使える中国語が身につくように考えられたものだと私は思います。

久しぶりの学生生活は新鮮で日々楽しく過ごしていますが、各教科から出される課題をこなすことの大変さも実感しています。時には落ち込むこともありますが、クラスの仲間からパワーをもらい何とかここまでやってきました。日中学院は中国語の学習に挫折しそうなとき、支えてくれる先生方や、仲間に出会える場所でもあります。

生涯学習として
本科一年生で新たなスタート

Qīngmù Liáng
青木 涼 同学

中華学校で 中国語を学ぶ ▶▶▶ 日中学院本科

私は父が中国人であったことから、小学校半ばくらいまでは横浜にある中華学校で中国語を学んでいました。しかし、それからはしばらく中国語とは離れた生活を送っていたため、私の中国語はとても不完全なままになっていました。大学も中国語とは関係ない学部を選びましたが、モチベーションをなくしてしまい中退しました。これからどうするか考えていたところ、親から日中学院で中国語を学び直すのはどうかと勧められ、私自身も中途半端なままになっていた自分の中国語を一段階レベルアップさせたいと思い、既習者であることから日中学院本科2年に編入しました。

日中学院は平日毎日授業があり、全ての授業が予習前提で、宿題も多く出るので毎日がとても大変です。しかし、ここまで中国語漬けの毎日を送れる場所は日本中を探しても日中学院しかないと思います。ネイティブの講師と密に交流できるため、リスニングやスピーキングは否が応でも鍛えられますし、作文も講師陣が丁寧に添削をしてくれるので、メキメキと上達します。本科2年で1年間しっかりと中国語を学び直した結果、今は以前よりだいぶ力がついたと実感しています。そして、更に中国語のレベルを向上させるために本科研究科に入学することにしました。1年後に自分の中国語がどこまでよくなっているか、今から楽しみです。

基礎を学んだ人は
本科２年生に編入

大学で 中国語を学ぶ ▶ 日中学院本科

Shàngxī Qǐ
上西 啓 同学

私は大学院で中国の経済史を研究しています。このように書くと、自在に中国語を操れて当然のように思われるかもしれません。しかし、私の場合、大学の第二外国語として中国語を学んだ後、体系的な勉強を怠っていたために、日中学院に編入する前は、「読む」上では辞書を多用すれば、どうにか文章の意味は取れるものの、「書く」「聞く」「話す」ことはさっぱりという状況でした。中国について研究している以上、現地の大学に留学したいという思いはあったものの、このままでは研究はおろか、現地での生活もおぼつかないという危機感を覚え、日中学院の門を叩きました。

いざ、授業が始まってみると、中国語を上達させるための環境が日中学院には揃っていました。すべての授業が予習を前提に進められ、期中・期末には試験もあるため、授業の時間外でも否応なく中国語と向き合う日々が続きます。講師の先生方は、読解・作文・会話などいずれの授業においても、「なんとなく」答えることを許さず、問題がある場合には、きちんと理由を説明した上で、間違いを逐一指摘して下さいます。正しい中国語にできるだけ多く触れることが上達への近道であるとするならば、日中学院のカリキュラムはその道に沿いながら組み立てられていると言えるかもしれません。

日中学院に入学したからといって、何の苦労もなしに見る見るうちに成果が上がるわけではもちろんありませんが、真剣に中国語を身に付けたい方にとっては、間違いなく実りの多い環境だと思います。

基礎を勉強した人は
本科2年生に編入

講座選択履修制度　本科の授業を1科目でも履修できる !!

○履修可能な科目（予定）　本科2年（1年間）

科目名	曜日	時間	内容
講読演習	水曜	10：45～12：15	やや複雑な中国語の文章を日本語に訳しながら、中国語の文法や語句の使い方を確認します。事前にレベルチェックがあります。
聴解演習Ⅱ（映画）	月曜	10：45～12：15	中国の映画･ドラマ･アニメ等を見ながら、リスニング力を高めるとともに、セリフの中の中国語も学びます。事前にレベルチェックがあります。
聴解演習Ⅰ（ニュース）	木曜	9：00～10：30	CCTVのニュースを聞き取る練習をし、速度に慣れ単語を増やすことを目指します。事前にレベルチェックがあります。
日本語教授法	月曜	13：30～15：00	外国人に日本語を教えるための知識、技術を学びます。
太極拳	木曜	13：30～15：00	1年間で、陳式24式を学びながら心身を鍛えます。

科目、回数は年度によって異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。

本科研究科（1年制通訳翻訳課程）

さらに一歩夢に近づくため、即戦力になる力をつける。

研究科とは　仕事で使える実践的な中国語を

中国語の基礎はすでにマスターし、より深く中国を知り、その力をベースに仕事をしていきたいと考えている方のためのコースです。
本学本科2年卒業又は大学中文科卒業程度、留学経験者などに最適です。

通訳翻訳の基礎力養成　少人数セミナー形式

授業は少人数セミナー形式で行われ、通訳Ⅰ、通訳Ⅱ、翻訳Ⅰ、翻訳Ⅱ、異文化コミュニケーション、総合力アップの6科目を通し、通訳、翻訳の基礎力を養成します。
どの科目も課題量が多く、中国語漬けの厳しい環境の中で、集中的に訓練し、更なるレベルアップを図ります。
また、就職後、即戦力になれるよう実践と結びついた密度の濃い授業を行います。授業は通訳案内士試験対策にも通じる内容で、在学中に通訳案内士試験に合格する学生もいます。

科目ごとの受講可能　大学とのダブルスクールも

6科目の中から、自分が苦手としている分野や伸ばしたい方面の授業のみを選択受講できます。月曜から土曜まで毎日通うのは難しい方でも研究科の専門的な授業を履修できます。大学等とのダブルスクールも可能です。

実　習　通訳・翻訳を実体験

一定の実力を備えた学生には年に数回、展示会や交易会、観光案内、翻訳補助などの実習があり、実際の現場で力試しができます。また、通訳、翻訳のアルバイトの求人もあり、授業以外でも実践的な力をつけることができます。

就　職　中国関係の各分野で活躍

卒業生の多くが中国関係の仕事に就いています。貿易商社、旅行社、航空会社、銀行、メーカーと業種はさまざまですが、卒業生は即戦力として各方面で活躍しています。

研究科のカリキュラム

授業内容

○【月】翻訳Ⅰ（中文日訳）
小説、エッセイ、字幕、新聞、ビジネス文書等多様な中国語を正しく理解した上で、分かり易く美しい日本語に仕上げる力を養成する。

○【火】総合力アップ
中国語の成語、諺やその根幹である古典に触れ、現代中国語文法整理、表現力アップ等総合力を伸ばす。

○【水】通訳Ⅱ（日文中訳）
スピーチやニュースなどを用い、通訳の基礎知識を学び、洗練された中国語の表現力と通訳スキルの向上を図る。

○【木】翻訳Ⅱ（日文中訳）
新聞、物語、エッセイ、契約書等の翻訳を通し、中国語の文法を固め、書面語表現を習得し、自然な中国語翻訳のテクニックを学ぶ。

○【金】通訳Ⅰ（中文日訳）
ビジネス、ニュース、生のスピーチ等を用い、中国語から日本語への通訳メソッドを通じて、リスニング力のアップを図り、瞬時に自分の言葉に言い換える、要訳するなどのトレーニングを行う。

○【土】異文化コミュニケーション
中国と日本の社会、文化、時事問題を取り上げ、共通点と相違点を確かめながら、相互理解に関する発表の訓練をし、双方向のコミュニケーション力を養う。

●学期区分

前期	４月10日～９月30日	夏休み	８月１日～８月31日
後期	10月１日～３月20日	冬休み	12月21日～１月９日
		春休み	３月21日～４月９日

●授業時間
月～土　　午前9時～午後12時15分

●本科研究科 時間割

	月	火	水	木	金	土
第1・2時限 9:00～10:30 第3・4時限 10:45～12:15	翻訳Ⅰ（中文日訳）	総合力アップ	通訳Ⅱ（日文中訳）	翻訳Ⅱ（日文中訳）	通訳Ⅰ（中文日訳）	異文化コミュニケーション

通訳コース…通訳Ⅰ（金）、通訳Ⅱ（水）
翻訳コース…翻訳Ⅰ（月）、翻訳Ⅱ（木）
科目選択履修は6科目の中から自由に選択できます。

●取得単位

本研単位取得科目			
科　目	単位	科　目	単位
通訳Ⅰ（中文日訳）前期	4	通訳Ⅰ（中文日訳）後期	4
通訳Ⅱ（日文中訳）前期	4	通訳Ⅱ（日文中訳）後期	4
翻訳Ⅰ（中文日訳）前期	4	翻訳Ⅰ（中文日訳）後期	4
翻訳Ⅱ（日文中訳）前期	4	翻訳Ⅱ（日文中訳）後期	4
異文化コミュニケーション前期	4	異文化コミュニケーション後期	4
総合力アップ前　期	4	総合力アップ後　期	4
合計		48単位	

日文中訳の授業

通訳の訓練

本研学生の声

Jítián Jùnyòu
吉田 峻祐 同学

日中学院本科 ▶ 日中学院本科研究科

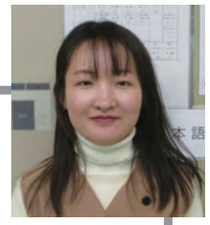
私は大学時代に第二外国語として中国語を学んでいましたが、卒業後は特に中国語とは関係ない仕事をしていました。日中学院への入学を決めたきっかけは、たまたま仕事で飯田橋を通りがかった時に看板が目に留まり、詳しく調べていくうちにもう一度ちゃんと中国語を学び直したいと思ったからです。本科では、発音の基礎からしっかり学び、宿題も多く、予習復習をきちんとこなしていく必要があるので、いかに大学時代は中国語をいい加減に学んでいたのかと思い知らされました。

本科卒業後は留学を考えていました。中国は9月入学なので、卒業から9月までの半年間だけ研究科に在籍できるかを先生方に相談していましたが、研究科へ進学するなら1年間ちゃんと学んだ方がいいというアドバイスと、そもそも今年度はコロナの影響で留学どころではなくなったということもあり、研究科で1年間学ぶことに決めました。結果的に研究科で1年間学ぶことができて良かったと思います。研究科の授業は、月曜から土曜まで毎日3時間程度ですが、本科以上に内容が濃く、宿題も増えているので、授業時間以上に中国語漬けの毎日になります。予習復習に追われる毎日はとても大変ですが、その分、中国語のレベルアップにつながると思います。日中学院で中国語を学んだ3年間は、とても充実したものでした。卒業後も中国語学習を継続するだけでなく、ここで学んだことを活かしていきたいと考えています。

就職に有利な実力を養成する
本科研究科

大学で中国語を専攻 ▶▶▶ 日中学院本科研究科

Tiānyě Měizǐ
天野 美子 同学



この学校に入ろうと決める前は大学４年の時で、大学院へ進学することに決めていました。そんなある日、大学構内に置かれた日中学院のパンフレットを見て、この学校に興味が湧き、さっそくホームページを見て資料を取り寄せました。それから大学院進学か日中学院かで迷い、悩んだ結果この学校に決めました。

私は実践的な中国語や書面語を扱う能力、また自分の考えたことを中国語で表現できる力を身につけたいと思い、日中学院本科研究科に入学しました。大学で４年間中国語を学び、基礎はできていたので研究科を選びました。授業に出てから驚いたことは大学の授業とは比べ物にならないほど中国語が飛び交っているところです。そして、学んでいくうちに日本語の重要さにも気づかされました。授業中や課題でどういう意味なのかは分かるのに、日本語が出てこない時が多々あってまだまだ勉強不足だなと感じています。また、先生が授業の中で仰った「外国語がどんなに上達しても、母国語を超えることはできない。」という言葉は正にその通りだなと今さらながら気づかされました。この言葉を肝に銘じて勉強していきたいと思いました。研究科は月曜日から土曜日の９時から１２時１５分まで毎日3時間ちょっとしか授業時間がないですが、内容がとても濃いので新しい知識を学ぶことができます。そして、ここで学んできたことはこれからもずっと力となって支えてくれると思います。

使える中国語をめざす
本科研究科

私達と一緒に学びましょう！ ――講師紹介

張　蕾
本科・本研担任
本科1年基礎漢語、2年聴解、VTR、応用漢語、本研通訳Ⅰ

岩井伸子
本科1年基礎漢語
聴解

松本智子
本研翻訳Ⅰ

張泰雲
本科2年会話

小金井京子
本科1年・2年講読

林　曙
本科1年基礎漢語、会話

莎萩蓉
2年会話
本研翻訳Ⅱ

劉笑梅
本科2年応用漢語、英語

廖八鳴
本研総合力アップ

金鮮栄
本科2年作文
本研通訳Ⅱ

蔡　娟
本科1年基礎漢語

椙田雅美
本科2年社会

張武静
本科1年社会Ⅱ
本研異文化コミュニケーション

古谷　創
本科1年社会Ⅰ

森嶋みす美
本科2年太極拳

二ノ神正路
日本語教授法

1年間のいろいろなイベント ――留学生との交流も

4月 入学式

学院長挨拶、講師紹介、歓迎演奏

5月 合同合宿

グループごとに学習会＆交流会

２日目はスポーツ大会

夜は発表会&レクリエーション

7月 短期留学

午前はオール
中国語の授業

午後や週末は
自由に北京散策

10月 文化祭

中国点心の模擬店

2ヶ月かけて練習した中国語劇

1月 弁論大会

中国語で自分の考えを発表します

3月 卒業式

それぞれの道での活躍を祈ります

進路

卒業後の進路は、就職、大学編入、中国長期留学等さまざまです。

日中学院では、本科生・本科研究科生を対象に進路指導を行なっています。クラス担任、講師と進路担当職員が密接な連携のもとに進路指導に当たっています。

現在の社会の状況を知る手がかりとするために、就職セミナー、先輩を囲んでの進路懇談会、個人面接を行ない、進路決定の一助になるよう協力しています。

就　職　高い語学力は就職に強い！

中国が日本の最大の貿易相手国となり、日中間の経済活動はますます盛んになっています。このような中、企業から高い中国語力を備えた本学院学生へのニーズは高く、毎年多方面から急募、アルバイトを含め多くの求人票が寄せられています。

特に近年、中国人観光客増加に伴い、小売業や接客業での求人が増えています。

●主な就職先（順不同）

①金融関係
- 中国銀行
- 中国工商銀行
- 中国交通銀行
- マーチャント・サポート株式会社

②商社　卸売
- 朝陽貿易株式会社
- 三通国際商事株式会社
- 株式会社ティー・オー食研
- 株式会社テンダイ
- 日信国際株式会社
- 日本興産貿易株式会社
- 萬来フーズ株式会社
- 貿易開発株式会社
- 山野貿易株式会社
- 株式会社吉田号

③航空　運輸
- 中国国際航空公司
- 恒大産業株式会社
- コスコ・コンテナライズジャパン株式会社
- コスコ・ジャパン株式会社

④旅行　サービス
- 株式会社アサヒホリディサービス
- 亜細亜国際交流株式会社
- 株式会社エムエスツーリスト
- コミックリズ株式会社
- シエルツーリスト株式会社
- 全日空国際旅行社（中国）有限公司
- 香港中旅日中旅行社株式会社
- 銀座日新堂
- ANA 中部空港株式会社
- ワーナー・ブラザーズジャパン合同会社

⑤メーカー
- 玉川衛材株式会社
- 株式会社日中通信社
- 日本スーパーマップ株式会社
- 日本トムソン株式会社
- 林フェルト株式会社

⑥コンピューター　通信
- Google北京
- 株式会社日本ウィクレソフト・ジャパン
- 方正株式会社
- 人民中国雑誌社東京支局

⑦団体他
- 外務省在外公館派遣員（上海、香港）
- 中国大使館領事部
- 中国帰国者支援交流センター
- 日本中国友好協会

就職者の声

中国関係企業に就職

本科54期　大村　侑美歌

私は実用的な中国語を身に付け、語学力を生かした仕事がしたいと思い、日中学院に入学しました。1年次には発音や文法の基礎を固め、2年次には授業や北京への短期留学で会話力や聴き取りの能力を鍛えました。2年生は7月まで短期留学に参加するため、就職活動を始めたのは2年次の夏休み明けです。それまでの期間に語学試験を受験し、履歴書に記入できるよう備えました。

就職活動中は、インターネットを中心に中国や中国語に関連のある企業を探しました。先生に教えて頂いた求人サイトに登録し、学校へ届く求人票から情報を集め、気になった企業に書類を送りました。私は希望する業界や業種が決まっておらず、就職活動に対し不安も大きかったのですが、先生方からも「こういった募集があるけどどう？」と様々な求人を紹介して頂き、視野を広げることができました。他にも先生方には面接の練習や、面接中に中国語でやり取りがあった場合の指導などをして頂き、大変お世話になりました。

2年生のカリキュラムは課題や予習復習に充てる時間も多い上に、アルバイトをしながらの就職活動は大変でしたが、周りのサポートもあり、中国の電子決済サービスに関する企業から内定を頂くことができました。日中学院で学んだ中国語を生かせるように春から頑張りたいと思います。

長期留学　本場中国でブラッシュアップ

日中友好交流の発展にともない、中国留学希望者も増えています。「中国語」の社会に身を置くことによって、“聞く・話す”能力を高めるとともに幅広く知識を得ることができます。本学院では、1979年の3名を端初に現在までですでに200名以上の学院生が中国へ留学しています。留学生は本学院で学んだ基礎の上に、おもに現代中国語を学ぶのが一般的ですが、そのほかにも中国文学、中国史、政治経済などの専門分野を学ぶ学生もいます。

●過去の主な留学先

中国人民大学	北京語言大学
北京師範大学	首都師範大学
北京大学	北京第二外国語学院
対外経貿大学	南開大学
天津師範大学	天津外国語大学
華東師範大学	上海財経大学
黒龍江大学	東北師範大学
華南師範大学	雲南大学

●天津外国語大学本科編入制度

天津外国語大学は多言語、多学科で、中国で最も早く設立された外国語専門の8大学の一つです。「天津外国語大学と日中学院が実施する2+2方式による大学正規教育協定書」に基づき、日中学院が推薦する成績優秀な学生は天津外国語大学本科に編入することができ、課程を修了すれば学士号が授与されます。

大学編入　指定校推薦で直接大学3年に編入!! 一般編入で東京外国語大学へも!!

日中学院では、指定校推薦制度等により学院卒業後直接大学3年に編入することができます。入試の形式は様々ですが、日中学院の成績が大学の単位として認められるのです。日中学院で2年間中国語を習得し、その後大学に編入し2年間で学士学位が取得できます。高校卒業から同じ4年間で大学を卒業できるわけです。この場合、直接大学に進学した学生より、中国語のレベルは、ずっと上になっています。高校生には特にお勧めな道です。

東京外国語大学言語文化学部言語・情報コース3年へも一般編入が可能で、合格者を輩出しています。

日中学院で中国語習得（1年～2年）・・・ **専門士取得**

↓

大学3年に編入（2年間）・・・・・・ **学士学位取得**

2017年度より日本大学へ推薦編入可能！！

2007年度より東京外国語大学へ一般編入可能！！

日中学院より推薦編入等可能な大学
- 日本大学文理学部中国語中国文化学科
- 大東文化大学外国語学部中国語学科
- 神奈川大学外国語学部中国語学科
- 目白大学外国語学部中国語学科
- 明海大学外国語学部中国語学科

上記以外の大学でも一般入試で編入可能です。

過去の編入合格実績

東京外国語大学	神戸市外国語大学
京都外国語大学	愛知大学
桜美林大学	神奈川大学
杏林大学	大東文化大学
帝京大学	名古屋大学
目白大学	明海大学
麗澤大学	

大学編入生の声

東京外国語大学3年次編入

本科53期　謝　遠寧

ほんの短い間とはいえ、かつて営業職で外回りをしていたことがあり、方々歩き回って訪ねた内の一軒に中国人の住むお宅があった。中から出てきたのは、如何にもといった感じの、中国の田舎によくいそうな風貌をしたおばあちゃんだった。もちろん日本語はわからない。今息子がいないのでちゃんと応対できなくて申し訳ないといった意味合いのことを言っていた気がする。相当訛っていた。今思い返してみればよく聞き取れたものだと我ながら驚いている。だが何よりも、その時ショックだったのは、すみませんご迷惑おかけしましたという中国語が私の口から出てこなかったことだ。少なくとも10代の頃なら問題なく言えていたはずのフレーズである。

はじめは何とも思わなかったが、仕事から帰ると、不意に悔しさやら情けなさやらが溢れ出してきて、自分にえらく落胆していた。こんなにまで中国語のレベルは落ちてしまったのか、と。このままではいけないという考えがその時から段々と高まるようになった。それから数週間と経たないうちに、あれよあれよと日中学院に入学し、今では大学に編入が決まったのだから人生わからない。結果的に、あの時の出来事が中国語を再勉強しようという契機になったのだと思う。名も知らぬおばあちゃんに感謝である。

ちなみに東京外国語大学の編入試験にあたっては、通常の授業で苦労していたり、或いは満足している程度では到底話にならないので、私の場合は日頃から中国語で書かれているニュースやコラム、小説、随筆等を読んだり、中検１級レベルの作文(日文中訳)を練習しては先生方に添削してもらっていた。特に後者は相当私の語学力の向上の手助けになったと思うので、先生方にはただただ感謝の気持ちでいっぱいである。

大学編入生の声

東京外国語大学3年次編入合格

本科52期　同学

日中学院には、先ずは焦らず中国語の音韻体系を体得しようというポリシーがある。正確な聴力と発音を身に付ければ、知識の吸収スピードや定着力も自ずから向上し、効率良く学習できると言う事だ。私は中国語学習経験が全く無い状態で入学し、仕事をしながら通った。四声や拼音と言うシステムがある事も知らず、入学当初は発音など惨憺たるものだったが、熱心な教師陣の薫陶を受け非常に進歩できた。1年秋には中検2級、2年春には中検準一級一次試験、HSK6級230点等取得したが、日中学院で「本物」の中国語に触れて学べば、実力は自然に伸びていく。

再び大学で学ぶ事は入学当初全く考えていなかった。私は完璧な中国語能力を手に入れる事だけを目標に学習を始めたが、結局は真に高次の中国語理解を手にするには種々の研究が必要だと分かり、2年の春頃目指し始めたものだ。精緻に字を配列し簡潔な文面に果てし無い奥行きを与える中国語の奥秘に少しでも近づき、そして言語の持つ本当の作用、即ち人の心を揺り動かすに至る強さを備えた中国語を書けるようになれば、まさに限りない喜びだろうか。日中学院ではスピード感を持って学習を進められるから、一般的な学習では到達ができない領域はどんなものか、その為にはどうした分野の研究が必要なのか、見極めるのに十分な水準に余裕を持って到達できる。ぜひ何も考えず日中学院に飛び込んで、思い切り中国語を楽しんでみよう。無論、そうして編入学が必要だと分かった時には、先生や先輩が熱心に助けてくれる文化がある。

就職支援活動

近年、中国語を必要とする業種は多岐にわたっており、日中学院では学生の就職活動を支援するため、以下の活動を行なっています。

●就職セミナー（4月）

外部講師を招いて、就職活動の流れ、電話のかけ方、面接対策、模擬面接などの講義を行ないます。履歴書の書き方、電話の応対から具体的な身だしなみのアドバイス、1次面接、2次面接、最終面接時それぞれのポイント、答え方のテクニックなど、知っていそうで知らない話をたくさん聞くことができ、実際の就職活動に役立ちます。

就職セミナー

●進路懇談会（6月）

中国語を使って様々な業種で働いている卒業生及び大学へ進学した卒業生から、就職活動や受験の体験談、アドバイス、現在の状況など、生の声が聞けます。実際に日中学院を卒業した方からの話なので、学生たちは卒業後のイメージが湧き、自分も頑張ればこうなれると大きな刺激を受けます。その場で新年度の求人情報などが得られる場合もあります。

進路懇談会

●キャリア・カウンセリング（未定）

NPO法人学生支援ネットワークと協力して、実際に求人票をいただいている企業の人事担当者の方にお越しいただく企業研究の授業です。学生は直接、企業の担当者の方に様々な疑問点を質問し、その業界や企業を理解し、進路決定に役立てます。また、人事担当者のお話を聞くことで、自分の不足している部分や仕事をする上での心構え、必要なことを知り、自己啓発にもなります。

キャリア・カウンセリング

●個人面談、書類指導、面接練習（随時）

4月と9月の進路個人面談以外に、随時クラス担任が、面談、履歴書・書類レポート指導、面接練習など、個別にきめ細かい指導を行なっています。

業種別卒業生の声

Zhōngcūn Yǔzhìzǐ
中村 予至子 同学

日中学院 本科 ▶ 留学 ▶ 通訳

幼い頃から世界を飛び歩くような仕事をしたいと思っていたのと、所謂中国ブームに後押しされた私はちょっとした紆余曲折の上、日中学院で中国語を学ぶことにしました。本科では、四声も覚束ない頃から敢えて日本語を使わない授業も一部ありましたが、兎にも角にも只ひたすら、がむしゃらに意味を理解しようとしていたあの頃の経験は、今でも色々な現場で役に立っています。フリーランスの通訳という立場は、その時だけある仕事に参加するという、あくまでもテンポラリーな役割しか担えない事が多いので、一連の流れの中で仕事全体を把握することは殆どできません。けれども、普通の生活をしていたら会うことのない、この先もう二度とお目にかかれないであろう分野のエキスパートやスーパースターと同じ空気を吸える空間に立つこともあります。プロがプロと称される所以を肌で感じ、自己研鑽の糧とできる素晴らしいチャンスに恵まれるという得難い経験は何物にも代えられません。残念ながら実際にはその度に自己嫌悪に陥いる悲しい状況ではありますが…。通訳といっても様々で、個人的には現場通訳みたいな、機械では難しいと思われる、生身の声と空気と温度を感じながら行われる通訳が好きです。もちろん通訳の現場で自分の発言をすることはあり得ませんが、中国語という工具を持った異文化コミュニケーションツールとしての役割を担うことができるよう、これからも努力していきたいと思いますし、そして何よりも、これら様々な気付きを与えてくれた日中学院には今でも心から感謝しています。

日々中国語漬け
通訳･通訳ガイドとして活躍

日中学院 本科 ▶ 航空会社

Shānqí Xiǎnwú
山崎 顕吾 同学

羽田空港国際線ターミナルの地上職員をしています。一口に空港の地上職員と言っても様々な職種がありますが、わたしは航空会社のREPというものをしています。REPなんて聞いたことがないかもしれませんが、これはrepresentativeの略で、代表者を意味します。つまり、航空会社の代表者、ということです。空港で外資系の航空会社のチェックインカウンターや搭乗口に行くと、1人や2人、まわりの職員と違う制服を着ている職員がいるかと思いますが、それがREPです。外資系の航空会社のほとんどは現場に自社の職員（REP）を数人しか置いていません。チェックインなどのハンドリング業務はハンドリング会社に委託しています。

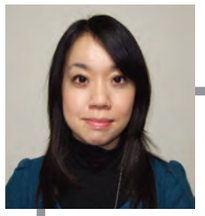
さて、REPの仕事内容ですが、多岐にわたるため一言では言い表せません。

具体的には、日常的にチェックインカウンターで中国語を必要としている旅客の対応をしたり、機内乗務員に旅客の情報を伝達したりしています。委託しているハンドリング会社のスタッフは英語ができても中国語はできない方がほとんどですので、中国語が必要となる場面での仕事が多いです。

また、機材に不具合があった場合などの緊急時には、北京本社と連絡をとります。もちろん中国語です。電話やメール、微信など様々なツールを使って外部とコミュニケーションを行いますが、その際、スピードや正確さが求められます。

クレーム処理など苦労する面も多々ありますが、やりがいのある仕事です。

日々中国語を生かして
中国国際航空公司

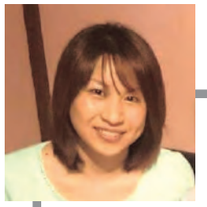


Mùténg Nàibǎozǐ
木藤 奈保子 同学

日中学院 本科 ▶ 日中学院 本科研究科 ▶ 台湾ドラマ制作会社

台湾のドラマ制作兼タレントマネジメント会社の日本法人で、ドラマとバラエティ番組制作に携わっています。ドラマ制作では主に日本の漫画原作のドラマを制作しているため、日本の出版社と映像化に向けて交渉する際の台湾窓口として、制作がスムーズに進捗するための調整をしています。調整する内容は、キャスト、物語設定から、宣伝・商品化の計画、契約内容まで多岐に渡ります。また、バラエティ番組制作ではアシスタントプロデューサーとして、番組制作の環境を整える仕事をしています。タレントの出演・ギャラ交渉、スケジュール調整、スタッフ、場所の確保から撮影当日の現場通訳、車両やお弁当の用意まで、あらゆるものを準備します。このようにどちらの仕事も主に交渉・調整で、交渉相手は全て台湾人なので、『きちんと伝える』ことを心がけています。ネイティブでない部分を補うため、見やすい資料を用意したり、人脈をひろげ色々な人に根回ししてもらったりも必要です。勿論相手にされない、交渉決裂など困難にぶち当たることも多々あります。そんな時日中学院で学んだ事がとても役に立っていると強く感じます。基礎をきちんと学んだという自信があるため、拙くても自分の言葉で根気良く交渉を続けていけるのだと思います。こうして一つ一つ困難を解決していき、それが更に次の仕事に繋がっていると実感しながら日々仕事をしています。今後とも学院で学んだ基礎を基に、一歩一歩努力していきたいと思っています。

日本と台湾を何往復 F4ドラマ制作も
可米製作股份有限公司



Chūcūn Zhìmeǐ
出村 智美 同学

日中学院 本科 ▶▶▶ 外務省

私は日中学院別科で中国語の勉強を始め、本科2年生に編入、1年間の中国留学を経て、本科研究科で学びました。

2年生の必修である短期留学は、1ヶ月間という短い期間ですが、授業のみならず日常生活でも生きた中国語に触れることができるとてもいい機会でした。また、短期留学を経験したことから中国留学への気持ちが強くなり、研究科に進む前に1年間留学したことは、研究科での学習においてもプラスとなったと実感しています。中国語の上達が実感できず、苦しい時期もありましたが、日中学院の先生方は経験豊富で、本科、別科ともにいつも熱心に丁寧に教えてくださいました。

研究科在籍時に外務省の在外公館派遣員制度に応募し、卒業後は在香港日本国総領事館で2年間勤務しました。主な業務は公用の出張者が来訪する際の空港やホテル等での支援や総領事館車の配車、庶務業務などです。その後外務省に採用となり、在青島日本国総領事館で約2年半勤務をしました。どちらの公館でも得難い経験ができ、日中学院で培った中国語を糧に大過なく勤務することができました。現在は、儀典官室で信任状捧呈式のための各国大使館と宮内庁との事務調整の仕事を主にしています。

最後に、高校卒業後数年間やりたいことが見つからずにいた私が、日中学院に出会い、中国語を勉強したことは大きな転機となりました。先生方には、時には厳しく、時には優しく指導していただき、今の自分がいることに本当に感謝しています。

香港・青島領事館勤務
外務省

日中学院 本科 ▶▶▶ 商社

Shǐqí Xiánzhì
矢崎 賢治 同学

私は、中国･タイ･インドネシア･ベトナムを中心としたアジアから、食品･日用雑貨の輸入を行う商社で働いています。その中で、私の担当業務は、塩蔵野菜･水煮野菜･冷凍栗等の食品を中国より輸入しています。仕事内容は、中国工場の生産管理･輸入書類作成･国内在庫管理･国内営業と、商売の流れを一通り行っています。その為、語学力だけでなく、商品･貿易･営業スキルも求められます。

中国へは、年に4回程行き、1回の滞在日数は、10日前後となります。広い中国ですので、1日で回れる工場は限られ、午前中は移動･午後商談というスケジュールを組んでいます。仕事後には、毎晩、中国公司と一緒にお酒（白酒）を飲みます。時には飲み過ぎる時もありますが、お酒は中国ビジネスにおいて重要であり、中国公司との人間関係が深まる?信頼関係が築ける?とも言われています。出張先は、河北省･山東省、浙江省･江西省･福建省で、河北省から福建省へ直接移動する時もあり、20度近くの温度差も経験しました。また、農産物を担当している為、播種･収穫時には産地視察を中心に行い、製造時には、工場の製造ライン･衛生管理の確認を行います。工場の所在地は、やはり人件費の安い地方にあり、人々の方言が多く残り、毎回、会話では苦労します…。日本での仕事でも、中国公司と電話･メールを行い、中国語とは切っても切れない生活となります。

現在、中国では富裕層が増え、これまでの世界の工場から世界の市場へと変化をしています。今後は、輸出事業へのチャレンジをし、中国ビジネスを極めたいと思います。

中国貿易に奔走
株式会社テンダイ

Sānpǔ Xuě
三浦　雪 同学

日中学院 本科 ▶▶▶ 雑誌社

中国国営の雑誌社で、対外連絡・経理業務に従事しています。特に、取材対象者と中国人記者の間に入り、アポイントメントをはじめ様々な交渉を任されています。中国企業では、急な依頼や変更が発生することも多く、日々柔軟な対応が求められます。以前は日本の企業に勤めていましたが、ここでは日本の常識では考えられないようなイレギュラーが発生することもあるため、困惑することもありますが、これが文化の違いなのだと勉強になるところもたくさんあります。

中国の政治・経済・文化に関する情報を日本語で日本の読者に届ける会社なので、社内の中国人スタッフはみなさん日本語が上手です。しかし、母語を話す方が手っ取り早いため、私への業務連絡は9割が中国語になります。取材対象者は政治・経済の専門家が多いので、日中学院の聴解の授業で毎日のようにニュースを聞いていなければ聴き取れないような時事単語が、スタッフとの会話の中にも頻繁に出てきます。学生の時は、そんな専門的な言葉を使う機会はないだろうと高をくくっていましたが、実際には実践レベルで役に立っています。聴解の授業で培われた「聴力」「語彙力」は、いまの私の中国語力の土台となっています。

社内のコミュニケーションは中国語
中国国営雑誌社

本科募集要項

推　薦　入　試
社会人自己推薦入試　**特典：入学金半額50,000円!!**

●推薦入試／社会人自己推薦入試

募集人員：1年生、2年生 若干名

出願条件：2024年3月高等学校卒業見込み、又は高等学校卒業或いは同等以上の学力を有すると本学院が認める者。
社会人自己推薦入試は上記の他に社会経験が有る方。

試験日程

	受付期間	試験日	発表
推薦入試	10／2(月)～11／2(木)	11／5(日)	11／7(火)

提出書類：1．入学願書（本学院所定のもの）写真貼付 1通
2．推薦状（書式自由） 1通
推薦入試……高等学校長又は大学･その他の学校の推薦状
社会人自己推薦入試……本人の自己推薦状（職歴、中国語学習への意欲等記載）
3．作文「なぜ中国語を学ぶのか」 1通
800～1,000字にまとめる
（B5版　400字詰原稿用紙横書き）
4．調査書（又は成績証明書） 1通
5．受験料　10,000円
6．写　真　2葉（3cm×2.5cm）
※写真の裏面に氏名を記入すること
※出願は学院事務局窓口で受け付けます。郵送の場合は現金書留で上記の書類を同封してお送りください。

試験内容：作文及び面接
- 作文　当日提示する簡単なテーマ3題のうちから1つを選び、600字程度の作文を書きます。基本的な国語力をみるものです。
- 面接　講師との面接の中で、学院についての理解を深め、中国語学習の態度について話し合い、2年間の見通しをつけます。

●一般入試

募集人員：1年生 40名（1クラス20名）、2年生若干名

出願資格：2024年3月高等学校卒業見込み、又は高等学校卒業或いは同等以上の学力を有すると本学院が認める者。

試験日程

	受付期間	試験日	発表
1次募集	11／8(水)～12／11(月)	12／13(水)	12／15(金)
2次募集	12／16(土)～2024年1／15(月)	1／17(水)	1／19(金)
3次募集	2024年1／20(土)～2／19(月)	2／21(水)	2／24(土)
4次募集	2／24(土)～3／7(木)	3／9(土)	3／11(月)
5次募集	3／11(月)～3／21(木)	3／23(土)	3／23(土)

上記日程以降も受け付けますのでお問い合わせください。

提出書類：1．入学願書（本学院所定のもの）写真貼付 1通
2．作文「なぜ中国語を学ぶのか」 1通
800～1,000字にまとめる
（B5版　400字詰原稿用紙横書き）
3．最終卒業校卒業（又は見込み）証明書　1通
4．最終卒業校の調査書（又は成績証明書）1通
（最終卒業校が専門学校の場合、高校のものを提出）
5．受験料　10,000円
6．写　真　2葉（3cm×2.5cm）
※写真の裏面に氏名を記入すること
※出願は学院事務局窓口で受け付けます。郵送の場合は現金書留で上記の書類を同封してお送りください。

試験内容：作文及び面接（左記参照）

入学前から中国語に触れてみよう！

1年生の合格が決まった方には、本科入学前に希望により春期集中講座の受講が可能です。（別科在籍者は除く）本科入学前から中国語に触れていただこうというシステムです。
出席率が75％を超えれば授業料が返金されます。
（教材は実費）

授業料減免制度

次に掲げるいずれかの世帯の学生は授業料が減免されます。
①生活保護世帯の学生
②市町村民税所得割非課税世帯の学生
③所得税非課税世帯の学生
④保護者等の倒産、失業などにより家計の急変した世帯の学生

授業料より150,000円（分納の場合　前期75,000円、後期75,000円）を減免します。
途中編入の場合、後期分より75,000円を減免します。
別紙申請書と証明書の提出が必要です。

本科外国人留学生募集要項

●出願条件：

日本および外国において通常の課程による12年以上の学校教育を修了し、なおかつその国の大学への入学資格をもつ者。また、下記のいずれかを満たす者。

①(財)日本語教育振興協会認定の日本語教育機関で6カ月以上の日本語教育を受けた者。(この場合、日本語教育機関での出席率が85%以上)

②(公財)日本国際教育支援協会および（独）国際交流基金が実施する日本語能力試験の2級以上に合格している者。

③(独)日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(日本語）の得点が200点以上の者。

④上記と同等の学力を有すると本校の学院長が認定した者。

この他、本気で中国語の習得を目指す強い意志を有すること。

●出願書類：

外国人留学生の場合は、申し込みの際、選考料と以下の書類が必要になります。

※出願書類に不備（書類の不足・記載事項未記入等）がありますと、受付ができませんので、出願をする前に下記のことを確認してください。

※提出された書類は返却いたしません。

1. 入学願書（本校指定書類①） 写真貼付、必ず本人が記入してください。
2. 経費支弁書（本校指定書類②） 必ず経費支弁者が署名・捺印。
3. 経費支弁者名義の銀行口座もしくは郵便貯金の預金残高証明書
4. 母国の最終出身学校の卒業証明書
5. 日本語学校の卒業（修了）（又は見込み）証明書
6. 日本語学校の成績・出席証明書
7. 顔写真4枚（縦40mm×横30mm） ＊裏面に氏名を記入。
8. パスポートのコピー（在留資格のビザページを含む）
9. 外国人登録証（表・裏）のコピー
10. 作文「なぜ中国語を学ぶのか」400字～800字（B5版 400字詰原稿用紙横書き）
11. 日本留学試験・日本語能力試験2級以上の結果のコピー（受験した場合）
12. 選考料：10,000円
13. 推薦入試受験の場合、学校の推薦状

本科研究科募集要項

●一般入試

募集人員：1クラス 15名

出願条件：本科出願条件の他に、大学中文科卒業程度もしくは本科2年卒業程度の中国語力を有する者。

試験日程

	受付期間	試験日	発表
2次募集	2024年 12／16(土)～1／15(月)	1／17(水)	1／19(金)
3次募集	2024年 1／20(土)～2／19(月)	2／21(水)	2／24(土)
4次募集	2／24(土)～3／7(木)	3／9(土)	3／11(月)
5次募集	3／11(月)～3／21(木)	3／23(土)	3／23(土)

上記日程以降も受け付けますのでお問い合わせください。

提出書類：1. 入学願書（本学院所定のもの）写真貼付 1通
2. 作文「なぜ中国語を学ぶのか」 1通
（学内者は「なぜ本科研究科を受験するのか」）
800～1,000字にまとめる
（B5版 400字詰原稿用紙横書き）
3. 最終卒業校卒業（又は見込み）証明書 1通
4. 最終卒業校の調査書（又は成績証明書）1通
（最終卒業校が専門学校の場合、高校のものを提出）
5. 受験料 10,000円
6. 写 真 2葉（3cm×2.5cm）
※写真の裏面に氏名を記入すること

※出願は学院事務局窓口で受け付けます。郵送の場合は現金書留で上記の書類を同封してお送りください。

試験内容：語学試験（筆記、口頭試験）及び面接

※科目履修生で通訳の授業を選択しない方は口頭試験はありません。

奨学金制度

日中学院の本科生が申請できる奨学金には下記のものがあります。

- 日本学生支援機構奨学金
- 東京都育英資金奨学金
- 倉石武四郎先生奨学金
（月額2万円を貸与、卒業後5年以内返済）

また毎年進級時に成績優秀者に贈られる倉石賞奨学金があります。

本科・本科研究科入学手続

●入学手続

合格発表より10日以内に、下記のものを提出・納入してください。

(1)住 民 票 1通
(2)健康診断書 1通(最寄りの保健所のもので可)
必要事項――血圧、尿検査、胸部のレントゲン、問診
(外国人留学生はこの他に国民健康保険証のコピー)
(3)授業料等

①本科(2024年度生)

	1年生		1年(9月)編入生
	合格発表から10日以内	7月末まで	合格発表から10日以内(一括)
入 学 金	100,000円		100,000円
授 業 料	335,000円	335,000円	391,000円
諸 経 費	112,000円		66,000円
中国短期留学費用(預り)	100,000円		100,000円
合 計	647,000円	335,000円	657,000円

	2年(4月)編入生	
	合格発表から10日以内	7月末まで
入 学 金	100,000円	
授 業 料	335,000円	335,000円
諸 経 費	112,000円	
中国短期留学費用	260,000円	
合 計	807,000円	335,000円

※外国人留学生（**留学ビザ取得者**）には、100,000円の奨学金を支給。

※本科2年進級生の学費は、1年生の学費から入学金を除き、中国短期留学費用(預り)残額160,000円(予定)を加算した額になります。授業料値上げ時は、新2年生も対象となります。また、短期留学費用がレートや学費、宿泊費の値上げにより不足した場合は、別途徴収する場合もあります。ご了承ください。

②本科研究科(2024年度生)

	全科目履修生	
	合格発表から10日以内	7月末まで
入 学 金	100,000円	
授 業 料	355,000円	355,000円
諸 経 費	112,000円	
合 計	567,000円	355,000円

※科目履修生は、1科目178,000円で一括納入になります。

※本科研究科外国人学生には、150,000円の奨学金を支給。出願書類は「本科外国人留学生募集要項」に準ずる

※本科・本研卒業生からの推薦書がある方は入学金が半額になります。

※納入先 きらぼし銀行 神田中央支店
普通預金 0050694
公益財団法人日中友好会館
日中学院
(注)**必ず本人の名前**で振り込むこと

※金融機関の窓口で10万円を超える現金での振込みを行う場合、振込みを行う者の本人確認書類（運転免許証、健康保険証、パスポート等）を提示しなければなりません。

※入学前（3/31迄）に入学辞退を申し出た場合は受験料、入学金を除き授業料等は返還します。

※大学・短大等を併願する場合は、本校の入学手続期限をさらに10日間延期することができます。出願時にその旨お伝えください。

※中国短期留学は必修です（本科2年次）。

※入学式当日に学生証を交付します。

※教材費は上記金額には含まれておりません。

本科説明会を兼ねた
中国語無料公開講座

本科で専門士を取得すると、中文科の大学編入が可能です。学士の資格が欲しい、大学等を中途退学したがもう一度大学で学びたい、中国語や中国関係の分野を極め仕事に生かしたいなどを、本科で学んで実現させませんか！

以下の日程で、本科入学希望者を対象に発音を中心とした無料公開講座を開催します。後半には、在校生との交流会も予定しています。

お気軽にお申込み下さい。

日 時：2023年 8月26日(土)
11月11日(土)
2024年 1月27日(土)
9:30～11:30 発音公開講座
11:30～13:00 在校生との交流会

※状況により、交流会は行いません。

在校生との交流会

※公開講座のお申し込みは、お電話、FAX、ホームページで承ります。

☎ 03-3814-3591
FAX 03-3814-3590
https://www.rizhong.org/

※実際の授業の見学、学校説明も随時可能です。事前にお問い合わせください。

この他に附帯教育の別科向けにも年10数回、公開講座を開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。

本科Q&A よくある質問をまとめてみました

Q. 本科2年間で中国語はどのくらいのレベルに達しますか。

A. 個人差があるので一概には言えませんが、目安として新HSK5～6級、中検2級～準1級に達するのではないでしょうか。新HSK5級以上は中国の学部入学（中国人学生と一緒に授業を受ける）の条件であり、仕事でも対応できる力を備えていると言えます。

ただ、ヒアリングが苦手な人や文法が苦手な人等ある分野で弱点がある人は、授業以外にも積極的に留学生と交流したり、自分の苦手な所を克服する努力をして、2年間中国語に集中できれば必ず大きな成果が上がると思います。

Q. 本科2年に編入するにはどのくらいのレベルが必要ですか。

A. 中国語の基礎文法をすべて修得していることが必要です。また、この他に授業はすべて中国語で行われるので、ヒアリング力、会話力も必要になります。中検3級以上、HSKでは3～4級ぐらいが目安だと思います。

Q. 年齢層はどうですか。若い学生が多いですか。

A. 近年、高校を卒業してすぐ入学される方の他に、大学を卒業して来る方、仕事を辞めて中国語を修得し再就職を目指す方、会社を定年退職した方等さまざまです。10代、20代から50代、60～70代の方がお互い刺激し合いながら同じクラスで学んでいます。ですから、「若い人が多いだろうから不安」ということはありません。また、若い方にとっては、授業以外にも人生の先輩からいろいろな事が学べる環境だと思います。

Q. 就職状況はどうですか。

A. 本科の就職希望者は、全体の1／4ぐらいです。業種は商社、旅行社、銀行、メーカー、小売業等さまざまです。その他は本科研究科、長期留学、大学編入へと進みます。本科研究科では希望者はほぼ100％中国関係の仕事に就いています。就職するには早い段階から積極的に活動することが必要です。学院でも毎年、個人面接、就職セミナー、進路懇談会、模擬面接と学生の就職活動を応援しています。

Q. 奨学金について教えて下さい。

A. 本科生が申し込める公的な奨学金には、日本学生支援機構と東京都育英資金奨学金があります。いずれも本科入学後の募集になります。採用人数には枠がありますので、応募者が多い場合は、経済情況等を考慮して、推薦者を決定します。この他に学校独自の奨学金もあります。授業料をまかなうには、銀行や国の教育ローンにお問い合わせください。

Q. 授業料は一括支払いですか。

A. 授業料は分割で支払えます。1回目は合格発表から10日以内に、2度目は7月末までに納入していただきます。期日までに間に合わない場合は、延納願（書式自由）を提出してください。

中国語ってどんな言葉？

中国語とは

中国は広いので、各地方にさまざまな方言があります。北京語（北方方言）、上海語（呉方言）、広東語（粤方言）、福建語（閩方言）等大きく八つに分けられます。広義で中国語とはこれらの方言全てを指します。しかし、それぞれが全く発音の違う言語でお互いは通じません。そこで共通語の普及が必要になりました。中国の共通語は“普通話”と呼ばれ、北京語音を標準音、北方語を基礎語彙とし、典型的な口語文を文法の手本としています。したがって、“普通話”と北京語は似ているようですが、“普通話”は共通語、北京語はあくまで方言の一つで全くの別概念です。

現在、一般に中国語とはこの“普通話”のことを言います。『中国語会話』とは“普通話”の会話を、『中国語文法』は“普通話”の文法を指しています。各地それぞれなまりは介入しますが、この普通話を話せば、中国全国どこでも通じます。また、中国語（“普通話”）では漢字を簡略化した簡体字が使われています。

中国語の発音

中国語は、基本的に1つの音節で1つの意味を表します。音節は母音、子音、声調から成り、これらをアルファベット表記したものが、ピンイン「拼音字母」（発音表記）です。“普通話”のピンインは“pǔtōnghuà”と表し、p、t、hが子音、u、ong、uaが母音、v、－、＼が声調記号になります。本学院では、中国語の入門段階では特にこのピンインを使った発音指導に重点を置いています。是非一度「本科説明会を兼ねた中国語無料公開講座」や本科の授業聴講で体験してみてください。

附帯教育
別科

週1～2回、入門から通訳まで70を超える多彩な講座!!

■昼間講座　早朝　7：30～ 8：30
午前　10：00～12：00
午後　13：30～15：30

■夜間講座　夜間　18：45～20：45

入学時期：4月、7月、10月、1月
（随時入学可）
入学資格、入学試験：なし
修了年限：1～3年（申し込みは3ヶ月毎）

別科では学生から社会人、主婦の方までさまざま人が学んでいます。学習の動機も、将来の就職に備えて、仕事上の必要から、趣味として、などいろいろです。

講座は週1～3回、時間帯も上記からご都合に合わせて選べます。基礎課程では中国人講師と日本人講師の連携による授業で「聞く」「話す」に重点を置いて基礎を固め、応用、研究課程では、興味のある分野、苦手な分野に的をしぼって講座を選択できます。中国語を初めて勉強する方はもちろん、学習経験のある方も、必ずあなたのレベルに合ったクラスが見つかるでしょう。

別途案内書があります。お問い合わせください。

別科（特別講座除く）在籍者の方が本科に合格すると入学金が半額になります。

■講座紹介（一部）

○基礎課程：発音から基礎文法習得を目的に
早朝週２「中国語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ」他
午前週２「初級」～「上級」
夜間週２「初級」～「上級」
週１「コミュニケーション中国語Ⅰ～Ⅲ」
土曜午前、午後週１
「土曜コミュニケーション中国語Ⅰ～Ⅲ」

○応用課程：学習の弱点克服、分野別のレベルアップを目指して
昼間週１「ステップアップ」
「中国語で話そう」「会話Ⅰ」
「基礎まとめ」「初級リスニング」
「聴解ステップアップ」
夜間週１「会話Ⅰ」「ニュースを読む」
「ステップアップ」「聴解ステップアップ」他

○研究課程：さらに上級の力を目指す方
昼間週1「書いて伝える中国語」
「会話Ⅱ」「听说会話」
「講読」「小説を楽しもう」
「ディスカッション中国語」
夜間週1「会話Ⅱ」「听听说说」「実践作文」
「通訳」他

その他に中国語検定、HSK6級対策講座や春期・夏期集中講座、1日集中講座もあります。
授業見学随時可　レベルチェック要予約

日本語科

■日本語科（中級コース）

時　　間	月～金 13：30～17：30
入学時期	4月、10月
修了年限	2年、1年半
入学資格	①中華人民共和国の国籍を有する者 ②学校教育12年の課程を修了した者 ③中国の日本語教育機関で150時間程度日本語を学習した者 ④書類提出時30歳未満の者

日本語科は、1986年4月に中国の留学生を対象に新設された講座です。日本語の基礎を習得した人が、自分の目で日本を見、自分の肌で日本を感じながら、日本語の能力を更に伸ばすための授業を行なっています。LL設備を使い、正確で生きた実用的な日本語教育を実施します。また、都内見学、ホームステイ、バス旅行、交流会など、日本を深く知るための活動を定期的に行います。卒業生は、大学、大学院などへ進学し大きな成果を収めています。

別科朗読大会

日本語科春節パーティー